ノッポ 施工・取扱説明書

《親子ドア》

●この説明書には下記のマークを付けています。

拡大損害が予想される事項

禁止行為　分解禁止　必ず行う

●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
●この説明書は保証書を兼用しています。大切に保管してください。
●『本製品』に関するお問い合せは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品は、サイズやカラーのバリエーションを幅広く取り揃えたシンプルデザインの開きドアです。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

1 施工上の注意

ノッポを長期間、安全にご利用いただけるように、またトラブルの無い確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

ノッポは一般住宅の室内用ドアです。他の用途へのご使用はおやめください。

扉・枠・金具に工具をぶつけたり、運搬時に引きずらないようご注意ください。傷を付ける恐れがあります。

照明、ストーブ等に近づけすぎないでください。熱によるシートの変色、ふくれ等の原因になります。

枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。扉が閉まらない原因となります。

工事が終了するまでの間、扉を壁に立て掛けたり、床に寝かせて保管しないでください。

風の強い地域、吹き抜け、高層階等でガラスドアを取り付ける場合、ドアストッパーをご使用ください。強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れる恐れがあります。
※ドアストッパーは、ドアの先端部に取り付けてください。

2 安全上の注意

ご使用の前によく読んでください。

注意　ケガや器物損傷の原因となる。

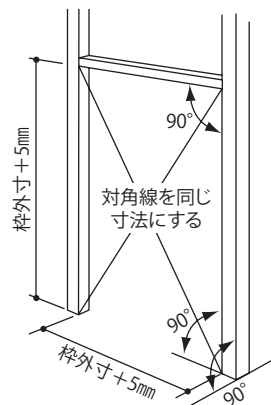
絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	●『扉本体』と枠や、扉と扉のすき間に手や指をいれない。	指の挟み込みなどケガのおそれがある。
⊘	●分解・改造をしない。	器物損傷の原因になる。
⊘	●小さな子どものいる家庭では、ぶつかったり、ぶら下がったりしないようにする。	ケガや器物損傷の原因になる。
⊘	●ガラス入りの『扉本体』は、ガラスに物をぶつけるなど、強い衝撃を与えない。	ケガや器物損傷の原因になる。
⊘	●『扉本体』を急激に開閉するなど強い衝撃を与えない。	ケガや『扉本体』など器物損傷の原因になる。
⊘	●部品に潤滑油やグリスを注さない。	部品の割れや変形、変色を生じるおそれがある。
⊘	●ネジが緩んだ状態で使用しない。	丁番など金具に負担がかかり、『扉本体』開かなくなるおそれがある。定期的にネジの締め直しを行う。
⊘	●ストーブなどの熱源を近づけたり、直接クーラーの風をあてたりしない。	『扉本体』が変形するおそれがある。
❗	●『扉本体』を閉める際に『扉本体』の下の隙間に足を挟まないよう注意する。	ケガのおそれがある。
⊘	●『扉本体』や『レバーハンドル』などにぶらさがらない。	ケガや器物損傷の原因になる。
❗	●強風の場合や強風が吹くおそれがある場合は、『扉本体』を閉めるか、ドアストッパーを必ず使用する。	ケガや器物損傷の原因になる。
⊘	●『レバーハンドル』以外の箇所を持って操作しない。	指詰めなどケガのおそれがある。

3 お手入れの方法

注意　ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
⊘	●シンナー、ベンジン、アルコール及び有機溶剤を含むクリーナーなどは使用しない。	変色やクラックなどの劣化の原因になる。

4 準備

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 下枠・沓摺は必要な場合は現場手配ください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。垂直、水平がでていない場合、下記の原因となります。
- 枠の固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。
  吊元側は補強桟木をダブルにしてください。扉の重みに壁が耐えられず、建具が床をする場合があります。

図のようなことがあった場合、扉が閉まらないことがあります。

たおれ

たいこ

つづみ

傾き

ねじれ

5 施工の前に

枠下端をカットし、床に上乗せにて施工してください。

※扉が換気経路になる場合は枠のカット寸法、高さの寸法が変わります。詳細カット寸法及び納まりは縦断面図16を参照ください。

※床下に配管等を設置する時は現場に応じてカットしてください。

枠を組み立ててください。
※同梱のビスをご使用ください。

ズレ
×

※縦枠と上枠にズレがないことを確認してください。

固定枠・薄壁枠の場合は、必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行なってください。

6 全体図

《固定枠・薄壁枠》

床・壁に埋め込まない場合は納まりに合わせて現場カットしてください。

《扉》

番号	名称	数量
1	親扉本体	1
2	子扉本体	1
3	錠（取付済）	1
4	フランス落とし（取付済）	2
5	ラッチ受（取付済）	1

《枠》

番号	名称	数量
6	枠本体 3方枠（縦枠2、上枠1）	1
7	戸当り	縦用2 横用1
8	枠組み立てビス ø4.0×50 （アトムP630 スーパーハイロー）	4
9	枠調整ビス ø5.2×55 （P630）	12
10	フランス落とし受け座	2

※上記数量は必要数量です。ビス・ビスキャップは上記数量より多い場合があります。

《把手》

番号	名称	数量
11	把手座	1
12	レバーハンドル	1

《丁番》

番号	名称	数量
13	丁番	4
14	丁番取付ビス ø3.8×25（扉側用）	16
15	丁番取付ネジ M4×20（枠側用）	20

《その他》

番号	名称	数量
16	ノッポ 施工・取扱説明書（本紙）	1

※必ずお施主様にお渡しください。

《必要梱包数》

①扉セット＋②枠セット＋③部品箱
※沓摺・床見切を使われる場合は別途現場にて手配してください。
※オプションの戸当り・ドアクローザーをご購入の場合は、部品箱の中に同梱しております。

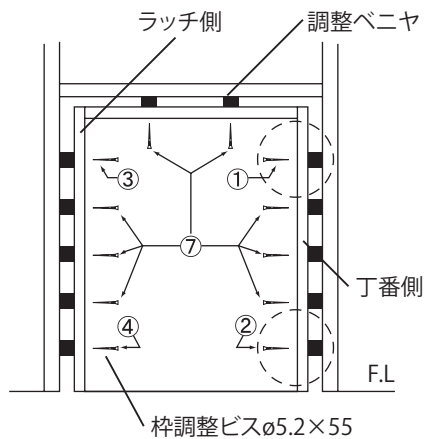
7 施工手順

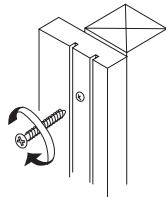
《開口部への枠の取付》

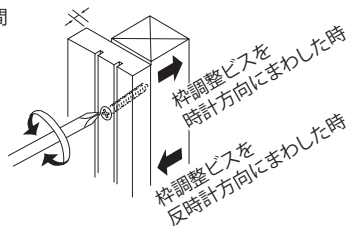
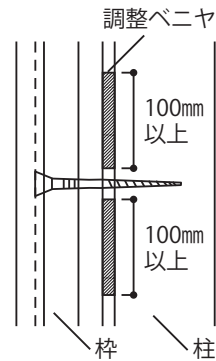
①枠を開口部にはめこんで丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

②下げ振りを使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。

③水準器で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

④下げ振りを使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠調整ビスで仮固定してください。

⑤枠の左右調整は次の様に行ってください。

A. まず枠調整ビスで枠を固定します。

B. 枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。

●枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーを使用すると、ビス頭がつぶれ調整ができなくなります。
●調整丁番は施工後の経時変化のための微調整ですので枠の調整はしっかり行ってください。

⑥調整後、枠調整ビスの上下に木工ボンド（現場手配）を塗った調整ベニヤ（幅＝柱幅程度 × 高さ＝100㎜以上）を入れてください。

手順①②③④部分の調整ベニヤは左図のようにビスの上下に入れてください。

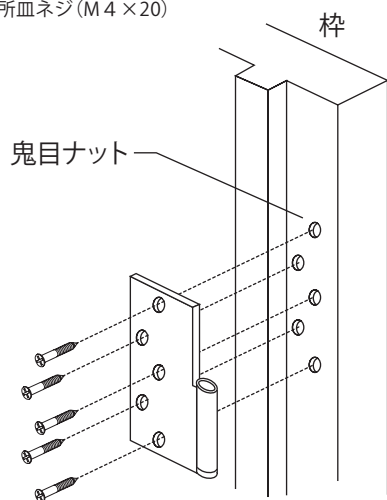
調整ベニヤを入れないと、枠がぐらつき、丁番が破損したり、壁と枠の間にスキマが発生する恐れがあります。

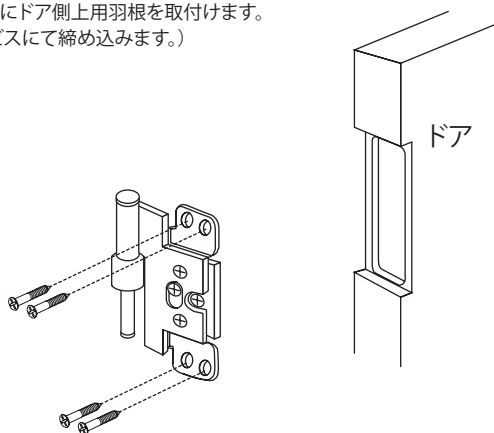
⑦枠の前後、左右のたわみがない様に調整後、調整ベニヤを入れて残りの枠調整ビスで本固定してください。

枠の水平・垂直を必ず確認してから取り付けてください。
扉が閉まらない原因となります。

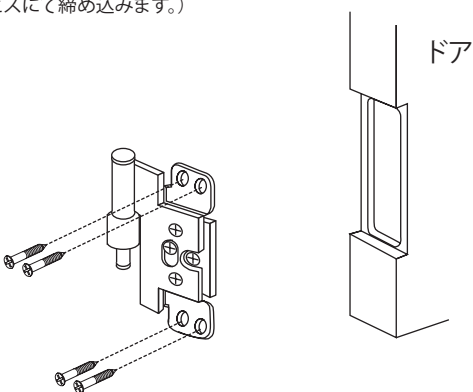
8 扉の吊り込み

《金具の取付方法》

①縦枠に枠側の羽根を取付けます。
　縦枠の鬼目ナットに向けて、５箇所皿ネジ（M４×20）
　にて締め込みます。（上下２箇所）

②ドア側の上部加工部にドア側上用羽根を取付けます。
（４箇所タッピングビスにて締め込みます。）

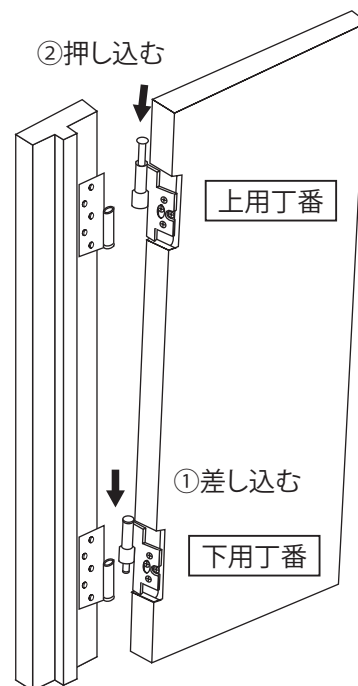
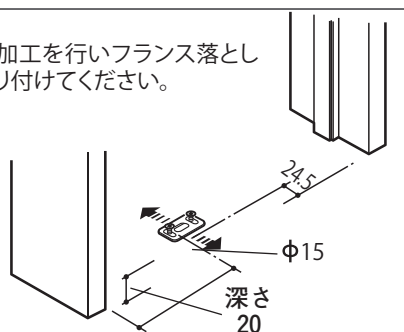
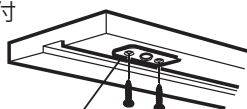
ドア

③ドア側の下部加工部にドア側下用羽根を取付けます。
（４箇所タッピングビスにて締め込みます。）

上枠・床にフランス落とし受座を取り付けてください。

床に図の加工を行いフランス落とし受座を取り付けてください。

フランス落とし受座

《吊り込み手順》

①下部の丁番を先に枠側丁番の管に差し込む。

②ルーズピンを上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。

③上用丁番のルーズピンを完全に差し込みます。

※扉を外す場合は、
　枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、
　ルーズピンを下から押し上げ、芯棒を抜きます。
　（この時、芯棒は抜けきってしまいますので
　ご注意ください。…吊り込み易くする為）

9 レバーの取り付け

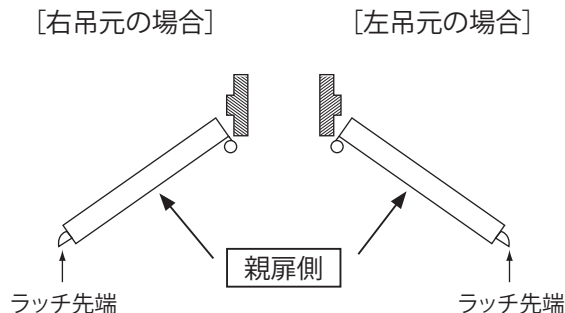
把手座とレバーハンドルを取り付けてください。
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧ください。

10 吊元の確認

吊元に対して、ラッチ先端の向き確認してください。

［右吊元の場合］　［左吊元の場合］

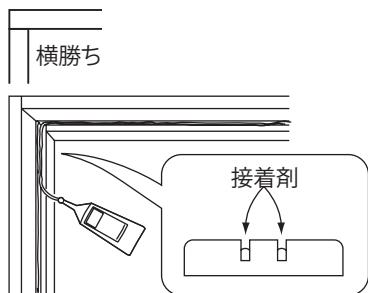
親扉側

ラッチ先端　ラッチ先端

11 戸当りの取付

戸当りを枠のサイズにあわせてカットし、ドア枠に接着してください。
※必ず接着剤を使用してください。

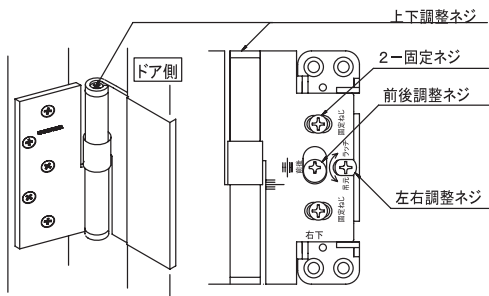
戸当りは必ず横勝ちで施工してください。

枠溝に縦2本接着剤を塗布してください。

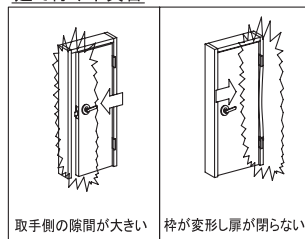
●おすすめの接着剤
酢酸ビニルエチレン
共重合エマルジョン

接着剤がまんべんなく行き渡るよう、上図のように塗布してください。
接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りが外れる恐れがあります。
戸当りは市販の酢ビ系接着剤では接着できません。

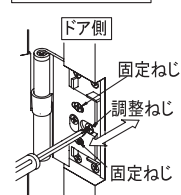
12 丁番の調整

《手順》

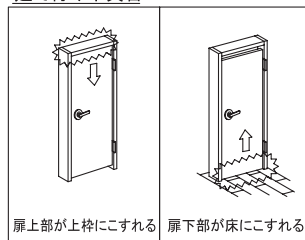
①固定ネジを緩める
②調整ネジで調整
③開閉して隙間等を確認
④固定ネジで締める

●調整に電動ドライバーは使用しないでください。
●取付ビスは調整時に緩めないでください。
●固定ネジを緩める時は１回転以上まわさないでください。
●調整ネジは調整範囲以上まわさないでください。

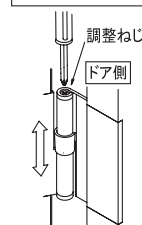
扉を開閉して、扉があたる場合は、調整丁番にて扉の傾きを調整してください。

《左右方向の調整・調整可能範囲±2㎜》

建て付け不具合

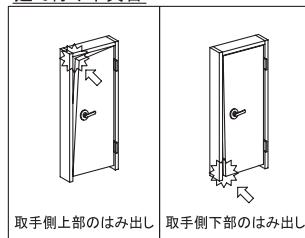
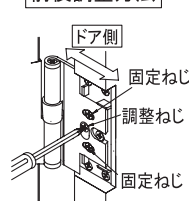
左右調整方法

①ブラケットカバーをはずす
②固定ねじを緩める
③調整ねじを回す。
　右に回す
　……戸先側に移動（2㎜）
　左に回す
　……戸元側に移動（2㎜）
④調整後、固定ねじを緩め付ける

扉が自動的に開閉する場合は、扉が枠に当たらない範囲で調整を行ってください。
●扉が閉まってくる場合　……　上丁番にて扉を丁番側に寄せてください。
●扉が開いてくる場合　………　上丁番にて扉をラッチ側に寄せてください。

《上下方向の調整・調整可能範囲±2㎜》

建て付け不具合

上下調整方法

①調整ねじを回す。
　左に回す
　……下に下がる（2㎜）
　右に回す
　……上に上がる（2㎜）

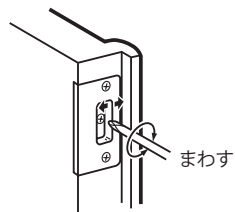
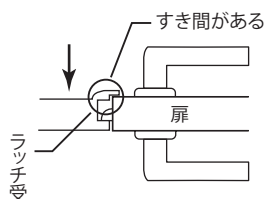
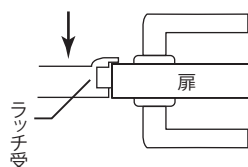
《前後方向の調整・調整可能範囲±2㎜》

建て付け不具合

前後調整方法

①ブラケットカバーをはずす
②固定ねじを緩める
③調整ねじを回す。
　寄せたい方向になるまで、回して下さい。
※前後調整ねじは、
　エンドレスに回転します。
　戸当たり側へ、2㎜移動可能
　持ち出し側へ、2㎜移動可能
④調整後、固定ねじを緩め付ける。

13 ラッチ受けの調整

《受箱の調整方法》

扉がガタついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、上下ビスを緩め、中の受箱を調整してください（調整可能範囲4㎜）。

●ドアがガタつく場合

●ラッチがかからない場合

●ネジが緩んだ状態で使用すると、錠に負担が掛かり扉が開かなくなる事故に繋がる恐れがあるので、ネジの増し締めをお願いします。
●レバーハンドル等を中性洗剤以外の洗剤や漂白剤・シンナーなどでは、絶対に拭かないでください。

14 養生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを枠・建具に直貼り使用すると、表面シートが剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

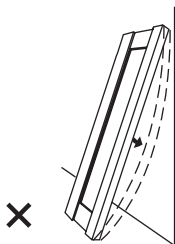
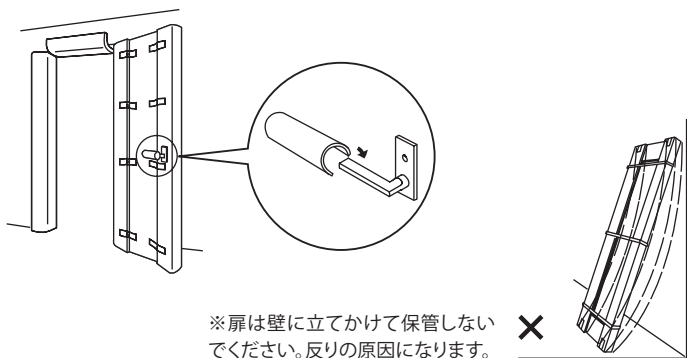
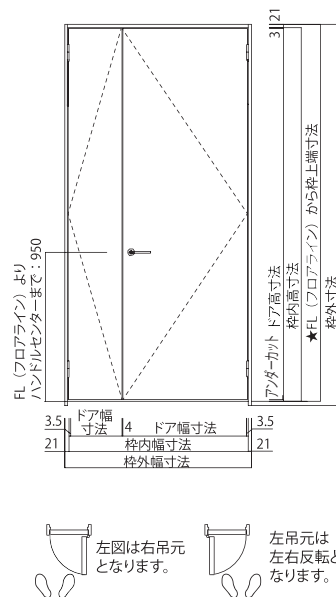
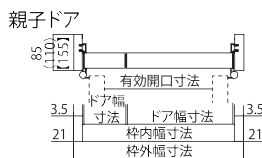
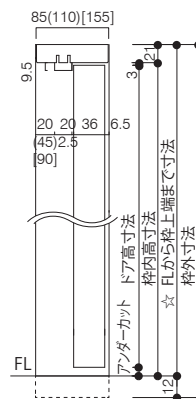
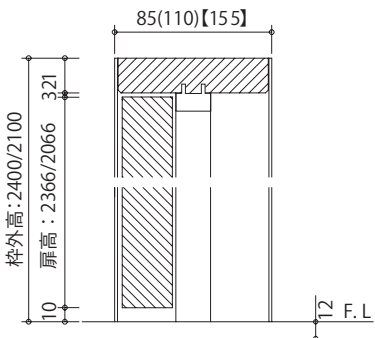
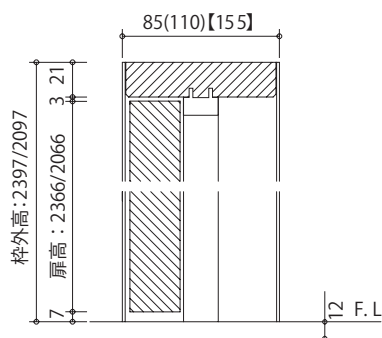
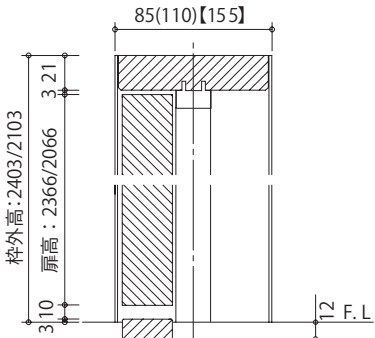
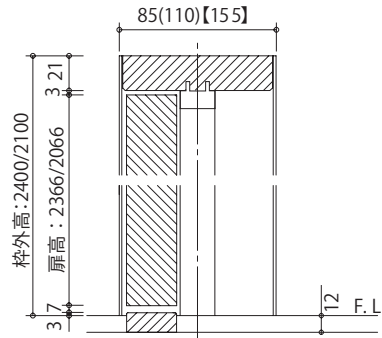
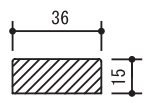
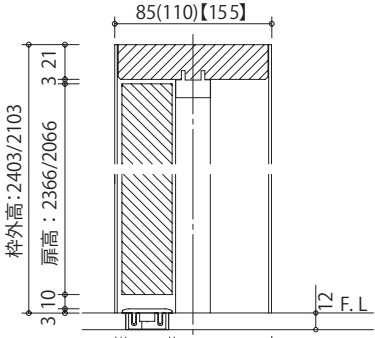
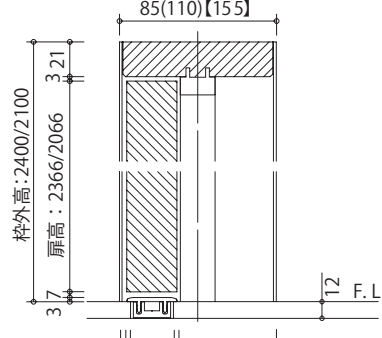
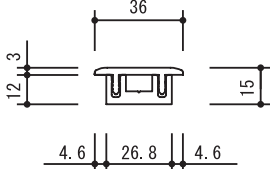
※扉は壁に立てかけて保管しないでください。反りの原因になります。

15 寸法図

《正面図》

《横断面図》

親子ドア

85
(110)
[155]
有効開口寸法
ドア幅
寸法
ドア幅寸法
3.5
3.5
21
枠内幅寸法
21
枠外幅寸法

《縦断面図》

	W1190
ドア巾寸法	792/345
枠内巾寸法	1148
枠外寸法	1190
有効開口	1033

	アンダーカット	H2100	H2400
ドア高寸法	10	2066	2366
	15	2061	2361
	20	2056	2356
枠内高寸法		2079	2379
FL～枠上端		2100	2400
枠外寸法		2112	2412

※正面図は代表例の姿図です。
※（　）内寸法は枠見込み110㎜の場合。[　]内寸法は枠見込み155㎜の場合。
※別注サイズの場合は☆の寸法がオーダー寸法になり、枠寸法は12㎜長く納品されます。

16 縦断面図

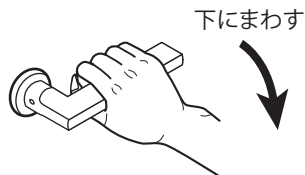
※長さの表記は、「H2400㎜タイプ / H2100㎜タイプ」になっています。

17 壁厚納まり

D85mm	9.5mmボード	12.5mmボード
スタッド40mm	21, 13, 9.5, 85, 40, 59, 13, 9.5	21, 10, 12.5, 85, 40, 65, 10, 12.5
スタッド45mm	21, 10.5, 9.5, 85, 45, 64, 10.5, 9.5	21, 7.5, 12.5, 85, 45, 70, 7.5, 12.5
スタッド50mm	21, 8, 9.5, 85, 50, 69, 8, 9.5	—
スタッド90mm	34, 9.5, 85, 90, 109, 10, 9.5, 21	40, 12.5, 85, 90, 115, 10, 12.5, 21
間柱105mm	49, 9.5, 85, 105, 124, 10, 9.5, 21	55, 12.5, 85, 105, 130, 10, 12.5, 21
間柱120mm	64, 9.5, 85, 120, 139, 10, 9.5, 21	70, 12.5, 85, 120, 145, 10, 12.5, 21

D110mm	9.5mmボード	12.5mmボード
スタッド50mm	—	21, 17.5, 12.5, 110, 50, 75, 17.5, 12.5
スタッド60mm	21, 15.5, 9.5, 110, 60, 79, 15.5, 9.5	21, 12.5, 12.5, 110, 60, 85, 12.5, 12.5
スタッド65mm	21, 13, 9.5, 110, 65, 84, 13, 9.5	21, 10, 12.5, 110, 65, 90, 10, 12.5
スタッド75mm	21, 8, 9.5, 110, 75, 94, 8, 9.5	—
D155mm		
間柱105mm	15.5, 9.5, 155, 105, 124, 21, 15.5, 9.5	12.5, 12.5, 155, 105, 130, 21, 12.5, 12.5
間柱120mm	8, 9.5, 155, 120, 139, 21, 8, 9.5	—

18 使用方法

■開ける場合
1．『レバーハンドル』を持つ。
2．『レバーハンドル』を回しながら『扉本体』を押す（引く）。
■閉める場合
1．『レバーハンドル』を持つ。
2．『錠』が『ラッチ受け』に入るまで『扉本体』を押す（引く）。
※「カチッ」と音がする。

19 故障かな?と思ったら

Q：『扉本体』が傾いてきた。
A：この説明書の 12 13 をご覧いただき、扉の調整を行って下さい。
調整をしても状況が改善されない場合、お買い上げの販売店に連絡してください。
Q：『建具』に反りがでてきた。
A：反りについて
木材を原料とする木質材料（合板・MDF・パーティクルボードなど）を加工して作られた内装ドアは、大気中の水分を吸収・放出することで伸縮する特性がある。この大気中の水分の吸収・放出は、内装ドア周辺の温度・湿度などの環境条件の変化に応じて変化に応じて発生するもので自然現象と言える。とくに内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。
《反りの発生を出来るだけ抑える方法》
ご使用の環境や設置場所によって、反りが発生する場合がある。反りの発生をできるかぎり抑える方法として、以下の事柄に注意してください。
※エアコンや暖房器具などを使用になる場合、ドアに直接熱風熱気が当たらないようにする。
※冷暖房や除湿などで、室内外の環境差を極端に大きくしないでください。
※ドアに直接日光が当たる場合、カーテンやすだれで日光を遮る。発生した反りは室内外の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。
※発生した反りは、室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

20 アフターサービス

《保証について》

下記保証書をご提示ください。
故障した場合記載内容により無料交換いたします。

保証書

品名	ノッポ
保証期間	対象：建具 期間：お買上げ日から1年
お買上げ日	年　月　日
お客様	お名前 ご住所 電　話（　　　）
工事店	店　名 電　話（　　　）

当社製品はお買上げ日から1年間無料交換いたします。
保証は日本国内において有効です。

保証期間中でも以下の場合は有料交換となります。
●取扱説明書および注意ラベルによらずご使用になり、故障及び損傷した場合。
●建物の設計・施工に起因する場合。
●取付、設置時の不注意または過失による故障及び損傷。
●引渡し後の設置場所の移動、落下などによる故障や損傷。
●不当な修理や改造による故障及び損傷。
●火災、天災、地変、その他の不可効力による故障や損傷。
●建築躯体の強度不足、歪み、劣化、その他本体製品以外の不具合による故障や損傷。

（ご連絡先）　株式会社サンワカンパニー

お客様相談センター　受付時間：土・日・祝日を除く9：00～18：00
TEL：0120-468-838　FAX：0120-382-096

※お客様でご記入をお願いいたします。
（サービスを依頼される際にお役に立ちます）

《廃棄処分について》

廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

21 基本仕様

製品改良のため、仕様・デザインなど、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

品名：ノッポ　親子ドア
用途：一般住宅屋内専用ドア
本体サイズ：高さ：2100㎜・2400㎜
幅：1190㎜
カラーバリエーション：ホワイト（マット）・ナチュラル（木目）・ダーク（木目）
セット内容：扉・枠・取付金物
材質：

	表面	基材	芯材
建具	オレフィレシート	ー	MDF・LVL・パティクルボード
枠	オレフィレシート	MDF	ー
ガラス	強化ガラス／熱処理ガラス		

原産国：日本